

# ホテル学校だより

ホテル学校歳時記(No.6)

## 仲間との再会を夢見て最後の脱皮準備

### ホテルの自由研究で大きな成果！ ホテルマスターファミリー講座

平成27年9月27日(日)、今年度の「ホテルマスターファミリー講座」(4~9月の全6回)が無事終了しました。この講座は、「ネイチャーゲーム」をはじめとする各種の環境教育プログラムを体験しながら、ホテルの生態や生息環境などへの理解を深めていくもので、その名のとおり“家族”で参加するものです。



家族でホテルや環境について学びます



第4回(7月)川の生き物調べの様子

第1回(4月5日)は「ホテルについて知ろう」、第2回(5月10日)は「ホテルの里の昆虫や植物を調べよう」、第3回(6月7日)は「ホテル発光の謎調べとホテルの観察」、第4回(7月12日)は「川の生き物を調べよう」、第5回(8月2日)は「夏休み!ホテルの自由研究に挑戦」、第6回(9月27日)は「環境教育プログラム体験

と活動の総まとめ」というように、ホテルを中心として鳥川ホテルの里の自然に目を向け、様々な体験を通して段階的に、「自然の不思議さや大切さ」、「命の尊さ」を感じ取り、自然保護意識を高めていただきました。この講座で体験したり学んだりしたことを活かし、ホテルに関する自由研究に取り組んだ4人の子が見事に学校代表となりました。この結果以上にうれしいことは、多くの子が1年だけでなく継続してホテルや自然に関する研究をしていることです。ホテルを育む素晴らしい自然、そして素晴らしい



「つながり発見!生息地」自然界のバランスを体感

人たちとの出会いに感謝しています。これからも身近な自然の素晴らしさ、面白さを感じ取ってってください。(自然・環境学習実践隊 秋元 義也)

ゲンジボタルは、幼虫時代に6回の脱皮をかさねて成熟幼虫の姿まで成長できました。危険な上陸も無事に完了しカビや細菌の攻撃もなく、元気な体でサナギの時間を無事に終え、最後は成虫になる準備です。蛹化(ようか)、羽化と体の変化を人間たちは区別しているようです。人間は体の脱皮こそありませんが“心の脱皮”は繰り返しているようです。



土の中のサナギ(30~40日間)

5月下旬の夕暮れごろから土まゆの中で羽化が始まります。数時間で脱皮が完了するので、その後は幼虫のとき潜ってきたトンネルを戻って外に出ます。トンネルが壊れたり硬くなっているので雨上がりの夜に行動します。幼虫の上陸も、成虫のトンネル脱出も雨の助けを借りて行動するのです。(雨をじっと待つ!)

地上に出て周りの自然環境に慣れるまで少し時間は掛りますが、数時間で羽も硬くなり飛翔できるようになります。まだ明るく日光の差し込む場所は危険なので日陰に避難して夕暮れを待ちます。初めて見る日本の自然の素晴らしさ、この自然界で飛翔できる事に感謝します。夜には仲間との再会ができる。早く夜にならないかな!地上の生活は7~10日です。短いようですが人間の何倍かの時間が経過しているのです。日没を合図に発光と飛翔するのが成虫の仕事で元気に飛び回ります。夜明け前に飛翔を終えてねぐらに帰宅します。これは人間と反対の生活です。(ホテル学校名誉校長 古田 忠久)

# 秋の里山と猪汁を満喫！ ホタルの里の山歩きイベント開催

平成27年10月17日(土)、秋晴れの鳥川町で毎年恒例のホタルの里の山歩きイベントが開催されました。鳥川ホタル保存会が中心となって開催している人気イベントで、今回も120名を超える方が集まりました。



愛宕山山頂にて記念撮影



「平成の大崩れ」からの大展望

山歩きは4コースに分かれて行い、平成の名水百選に選ばれた湧水に立ち寄り、展望の良い見晴らし場で景色を楽しんだり、里山の自然を満喫しました。ゴール後の特製“猪汁”の振る舞いも大人気でした。

鳥川の里山は地域住民やボランティアの手でコースの整備や案内看板の製作、設置など整備がされており、いつでも気軽に山歩きを楽しむことができます。また、ホタル学校でも毎月1回山歩きのイベントを開催しています。色づく秋、そして空気が澄む冬に向けて、引き続き皆様のお越しをお待ちしています。



特製猪汁の振る舞いに舌づつみ

# ホタルのフォトコンテスト 応募の全作品を展示中！

今年開催したホタルのフォトコンテストは全24作品の応募がありました。受賞作品の中から「推薦」、「特選」の作品をご紹介します。



推薦「こっちにもあっちにも」(谷川 智洋 氏)



特選「心を照らす川のあかり」(千葉 一浩 氏)

ホタル学校では他の作品も含めて展示しておりますので、ぜひ見学にお立ち寄りください！

# 旅をする蝶“アサギマダラ”がやって来た！

長距離の渡りをする蝶として有名な「アサギマダラ」が今年も鳥川にやってきました。アサギマダラは本州・四国・九州・沖縄に広く分布していますが、秋になると気候の良い南方を目指して移動する習性があることで知られています。ふわふわと風に舞う姿からは想像できませんが、過去の調査では日本から海を越えて台湾まで飛翔したケースが報告されています。(距離にして1,000~2,000kmも移動)



たった一日で約200km以上も移動

した例も報告されており、小さな体に秘められた大きな生命力に驚かされるばかりです。鳥川では地元の「松下真司」さんが植えた「フジバカマ」の畑に毎年10月頃になるとアサギマダラがたくさん飛来しており、その美しく華麗な姿を一目見ようと昆虫ファンや写真家が遠方からも訪れています。



[ホタル学校に関する情報はホームページ・ブログをご覧ください！]

★ホームページ…[http://www.morinoeki.jp/hotaru\\_gakkou/index.html](http://www.morinoeki.jp/hotaru_gakkou/index.html)

★水とみどりの森の駅ブログ…<http://sizentaikennomori.booblog.com>